

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 21 年 11 月 5 日 (2009.11.5)

【公表番号】特表 2009-511650 (P2009-511650A)

【公表日】平成 21 年 3 月 19 日 (2009.3.19)

【年通号数】公開・登録公報 2009-011

【出願番号】特願 2008-533976 (P2008-533976)

【国際特許分類】

C 0 9 B 19/00 (2006.01)

C 0 9 B 56/00 (2006.01)

D 0 6 P 3/04 (2006.01)

D 0 6 P 3/08 (2006.01)

C 0 7 D 265/38 (2006.01)

A 6 1 K 8/49 (2006.01)

A 6 1 Q 5/10 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 B 19/00 C S P

C 0 9 B 56/00

D 0 6 P 3/04 B

D 0 6 P 3/08

C 0 7 D 265/38

A 6 1 K 8/49

A 6 1 Q 5/10

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 9 月 14 日 (2009.9.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式 (1)  $D_1 - (Z_1)_r - Y_1 - S - A$

(式中、

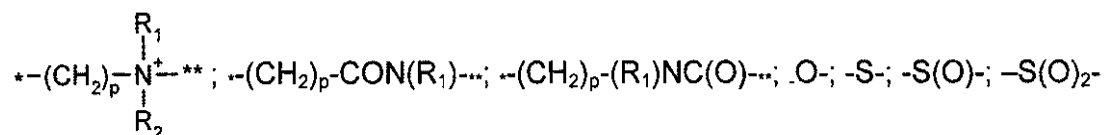
A は水素原子；又は式 (1a)  $* - S - Y_2 - (Z_2)_r - D_2$  で表される基を表し；

$Y_1$  及び  $Y_2$  は、夫々互いに独立して、非置換の又は置換された、直鎖又は分枝鎖の、中断された又は中断されていない、炭素原子数 1 乃至 10 のアルキレン基；炭素原子数 5 乃至 10 のシクロアルキレン基；炭素原子数 5 乃至 10 のアリーレン基；又は炭素原子数 5 乃至 10 のアリーレン基 - (炭素原子数 1 乃至 10 のアルキレン基) を表し；

$Z_1$  及び  $Z_2$  は、夫々互いに独立して、

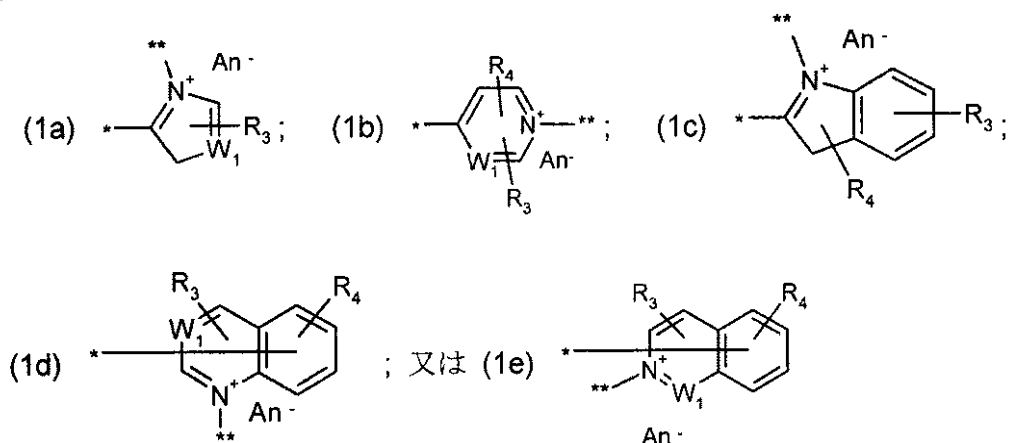
【化 1】

$*-(CH_2)_p-C(O)-$ ;  $-(CH_2CH_2-O)_s-$ ;  $-(CH_2)_p-C(O)O-$ ;  $-(CH_2)_p-OCO-$ ;  $-(CH_2)_p-N(R_1)-$ ;



を表し；又は式

## 【化 2】



で表される置換された又は非置換の芳香族又はヘテロ芳香族化合物のカチオン性パイラジカルを表し；ここで、

アスタリスク \* は  $D_1$  及び / 又は  $D_2$  への結合を表し；

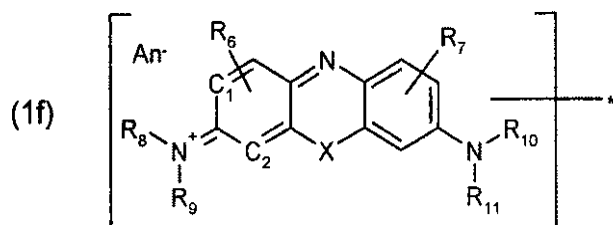
アスタリスク \*\* は  $Y_1$  及び / 又は  $Y_2$  への結合を表し；

$W_1$  は N 又は C  $R_5$  基を表し；

$R_1$ 、 $R_2$ 、 $R_3$ 、 $R_4$  及び  $R_5$  は、夫々互いに独立して、水素原子；炭素原子数 1 乃至 14 のアルキル基；炭素原子数 2 乃至 14 のアルケニル基；炭素原子数 5 乃至 10 のアリール基；炭素原子数 5 乃至 10 のアリール基 - (炭素原子数 1 乃至 10 のアルキル基)；又は - 炭素原子数 1 乃至 10 のアルキル基 (炭素原子数 5 乃至 10 のアリール基) を表す。)；

$D_1$  及び  $D_2$  は、夫々互いに独立して、式

## 【化 3】



で表される基より選択される有機染料の残基を表し、

$R_6$  及び  $R_7$  は、夫々互いに独立して、水素原子；炭素原子数 1 乃至 20 のアルキル基；炭素原子数 1 乃至 20 のアルコキシ基；炭素原子数 3 乃至 6 のシクロアルキル基；炭素原子数 5 乃至 10 のアリール基；アニレート (anellated) された芳香族基；カルボキシレート；又はスルホネート基を表し；

$R_8$ 、 $R_9$  及び  $R_{10}$ 、 $R_{11}$  及び  $R_{12}$  は、夫々互いに独立して、水素原子；非置換の又は置換された、直鎖の又は分枝鎖の、単環又は多環の、中断された又は中断されていない、炭素原子数 1 乃至 14 のアルキル基、炭素原子数 2 乃至 14 のアルケニル基、炭素原子数 6 乃至 10 のアリール基、炭素原子数 6 乃至 10 のアリール - 炭素原子数 1 乃至 10 のアルキル基又は炭素原子数 5 乃至 10 のアルキル基 (炭素原子数 5 乃至 10 のアリール基) を表し；又は、

$R_8$  及び  $R_9$  又は  $R_{10}$  及び  $R_{11}$  は、結合窒素原子と一緒に、一種以上のヘテロ原子を含み得る 5 乃至 7 員の炭素環を形成し；又は、

$R_8$  は  $N^+$  と一緒に  $C_1$  に結合して、5 乃至 7 員の炭素環を形成し；又は、

$R_9$  は  $N^+$  と一緒に  $C_2$  に結合して、5 乃至 7 員の炭素環を形成し；

X は - O - ；又は - N ( $R_9$ ) - ；又は - S - を表し；

p は 0 乃至 5 の数を表し；

r は 0 又は 1 を表し；そして

s は 1 乃至 5 の数を表す。)；

で表される化合物。

【請求項 2】

請求項 1 で定義された式 ( 1 ) で表される少なくとも一種の化合物で繊維を処理することを含む、ケラチン含有繊維の染色方法。

【請求項 3】

少なくとも一種の請求項 1 で定義された式 ( 1 ) で表される化合物を含む組成物。